

～校長通信～

ふたばっ子とともに

R5. 5. 23

今年度、双葉小学校の目指す子供像は、「『やりたいこと』を見つけて、挑戦する子」です。

4年生の一部の子供たちのある「挑戦」がスタートしたので、今回は、そのことについてお伝えします。

「やりたいこと」に挑戦する① ～オクラの種まき～

昨年度の秋ごろ、校長室の窓から下校する子供たちに挨拶の声を掛けていた私に、3年生が、

「校長先生、これをあげます。」

と言って、理科で育てたオクラの種を窓越しに1本手渡していきました。

その後、時々「校長先生、あのオクラの種は？」と、3年生の中にたずねる子がいたので、「ここにあるよ。」と見せるために、ずっと窓際においてありました。

時には、「種を一つください。」という申し出をする3年生も…。そんな時は、「どうぞ。」と渡していました。だいぶ時間が経ち、手元に残った種はわずか「9個」になっていました。

新学期になり、4年生に進級した子供たち。

4月のとある金曜日、下校時、3人の4年生の女の子と校長室の窓越しに話をしていると、

「校長先生、オクラの種はまかないのですか。」

と、尋ねられました。私は、

「先生はまく予定はありませんが、あなたたちがまいて育てますか。」

と返すと、すぐさま、

「育てます。」

という元気な答えが返ってきました。

そこで、私は、

「では、土日に種を水につけておくので、月曜日にまきましましょう。」

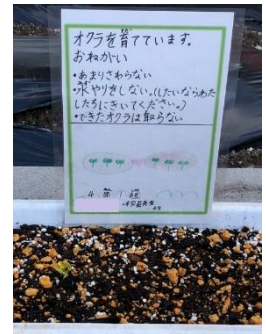
と言って週末を迎えました。

そして、週が明け、4年生の女の子たちと一緒にプランターに土を入れ、オクラの種をまきました。



「何かプレートを作りますか。」
と、わたしがたずねると、
「作ります。」
という答えが返ってきたので、
紙を渡しました。

数日後、メッセージプレート
が出来上がったので、ラミネー
ト加工をして土に差しました。



オクラは、無事に発芽をして、今(5/22現在)こんな感じです。



4年生の女の子3人の「やりたい(育てたい)」という気持ちからスタート
したオクラの栽培。これは、授業ではないので、教科学習にも総合的な学習
にも当てはまりません。この先、子供たちが、どんな出来事と出会い、何を
感じ何を考えていくのか。それを通して、どんな学びを得ていくのか。オク
ラの成長とともに、とても楽しみです。

実は、昨年度、このオクラの種を私のもとへ届けたのは、現4年生の男子でし
た。でも、その種を「まいて育てたい」と言ったのは、現4年生の女子3人でし
た。

先日、種を届けた男の子たちが、
「僕たちは、水かけをしてはいけないのですか。」
とたずねに来ました。わたしは、
「いや、そんなことはないと思います。一緒に水かけをしたらどうですか。」
と答えました。

その後、自分たちで分担し、男女が協力して、水かけを続けています。オクラ
も少しずつ成長しています。

女の子たちが起こしたアクションで、男の子たちの心が動きました。これが、
今年度大切にしていきたいと考えている、「ひと」が「ひと」とつながり、「こ
と」が「こと」を生み出しつながっていくという様々な「つながり」です。

おそらく、この「オクラの種まき」は、「ひと・もの・こと」のどれかで、また、どこかに、次の「つながり」を生み出し発展していくことでしょう。

新たに「やりたいこと」を見つけ、挑戦する子供たちが、次々に現れることと、「ひと・もの・こと」の連鎖的なつながりとその広がりが、様々な形で見られることを、今後も楽しみにしていきたいと思います。